

Title	ポスター（「卓越」セミナー第2回（コンフリクトの 人文学セミナー第86回）世紀転換期の日英における移 動と衝突－諜報と教育を中心に）
Author(s)	
Citation	
Issue Date	2013-03-25
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/27376
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

世紀転換期の日英における移動と衝突—諜報と教育を中心に

日時 2013年2月6日（水） 13:00-18:00
会場 大阪大学待兼山会館2階

『大英帝国の女教師—イギリス女子教育と植民地』（白澤社、2008年）の著者・堀内真由美氏をお迎えし、ワークショップを行います。同書第Ⅲ部「海を渡った女教師—その展開と限界」で詳述されているように、19世紀から20世紀にかけて大英帝国から海を渡った多くの女性教師が存在しました。彼女たちは教育者だけではなく、「帝国」の先兵でもありました。本ワークショップでは、世紀転換期に海外に目を向けるようになった日本の事例も視野に入れ、海外への欲望と教育の複雑な関係について検討を行います。どうぞお気軽にご参加下さい。



開会のあいさつ（大阪大学・准教授・橋本順光）

堀内真由美（近畿大学ほか非常勤講師） 「世紀転換期イギリス女教師たちの海外展開」

休憩

内藤貴夫（大阪大学・大学院生・RA）

「ブルワー＝リットンの『ポール・クリフォード』（1830）に見る犯罪者と流刑」

小橋玲治（大阪大学・大学院生・RA） 「日本から海を渡った女教師たちとその表象」

吉田大輔（大阪大学・大学院生・RA）

「北進論文学者としての幸田露伴像の解明へ向けて—実兄・郡司成忠の千島入植との関わりを中心に—」

橋本順光 「世紀転換期の日英における旅行記と外交の相克」



休憩

全体討議 ディスカッション：堀内真由美



主催：卓越した大学院拠点形成支援補助金「コンフリクトの人文科学国際研究教育拠点」

阪大比較文学会

科学研究費補助金「20世紀初頭のインド旅行記におけるアジア主義と黄禍論の日英比較研究」研究成果発表会

